

Syllabus Id	syl.-060353
Subject Id	sub-060007560
作成年月日	2006年2月11日
授業科目名	ドイツ語演習 (German Language Seminar II)
担当教員名	大久保清美
対象クラス	全工学科5年生
単位数	1履修単位
必修/選択	自由選択
開講時期	前期
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	選択制教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

原則として4年生後期に「ドイツ語演習」を受講し、単位を修得した学生を対象に、初級ドイツ文法後半を「練習」を通して身につけさせる。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

ドイツ語演習 の範囲の文法知識・語彙

学習・教育目標	Weight	目標
	A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
	B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	D	国際的な受信・発信能力の養成
E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成	

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

初級ドイツ文法後半を「練習」を中心に修得させることにより、「ドイツ語技能検定試験4級または3級合格を目標とする」

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	10課	・形容詞	
第2回	10課	・現在分詞の用法 ・疑問代名詞 welcher と was fuer ein	
第3回	11課	・動詞の三基本形 ・過去分詞の用法	
第4回	12課	・過去形 ・未来形	
第5回	12課	・現在完了 ・過去完了	
第6回	13課	・指示代名詞 ・不定代名詞	
第7回	13課	・再帰代名詞 ・再帰動詞	
第8回	14課	・受動	
第9回	14課	・esの用法(1)形式上の主語としてのes	
第10回	15課	・関係代名詞	
第11回	16課	・形容詞・副詞の比較級・最上級	
第12回	16課	・不定詞の用法	
第13回	17課	・esの用法(2)後続の語句を先取りするes ・数詞(2)序数	
第14回	18課	・接続法	
第15回	前期期末試験		×

課題

特になし

オフィスアワー:月曜日15:00~16:30

評価方法と基準

評価方法:

試験でのみ評価する

評価基準:

前期期末試験100%

教科書等

練習中心・初級ドイツ文法、中島・平尾・朝倉、白水社、2000円

先修科目	ドイツ語演習、ドイツ語 A、ドイツ語 B、英語
関連サイトのURL	東京ドイツ文化センター http://www.goethe.de/tokyo
授業アンケートへの対応	受講生間の学力差にもう少し配慮したい。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。